

令和2年度（2020年度）行政評価シート【個表】

令和 2 年 8 月 14 日

評価対象事業		評価者	生活福祉課長	寺山 明
健福-10	実施事業	行旅病人死亡人援護事業	<input type="checkbox"/> 自治事務 <input checked="" type="checkbox"/> 法定受託事務	主管課 生活福祉課 関連課
総合計画上の位置付け	分野	健康福祉	施策の方針	地域生活の支援サービス

1 事業の目的

対象	行旅病人・行旅死亡人等及び同伴者
意図	行旅病人等の救護等のため。
効果	行旅病人等の救護等を図る。

2 令和元年度(2019年度)に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> ・行旅病人の援護については、実施がなかった。 ・行旅死亡人の火葬、官報公告、遺骨の保管等については、実施がなかった。 ・「墓地・埋葬等に関する法律」第9条の規定に基づき、引き取り手のない遺体の取扱いを行った。
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	30年度(2018年度)決算	01年度(2019年度)決算	データ区分	02年度(2020年度)当初予算	備考
人口等のデータ	人口	176,308人	人口	176,608人	・各年3月31日 (住民基本台帳)
	世帯数	81,763世帯	世帯数	83,058世帯	
運営資源状況	事業の対象者数		事業の対象者数		
	決算値(千円)	1,962	1,174	当初予算(千円)	2,014
	国県支出金	0	0	国県支出金	538
	地方債	0	0	地方債	0
	その他	492	0	その他	0
	一般財源	1,470	1,174	一般財源	1,476
	人員配置数	0.1	0.1	人員配置数	0.1
人件費(千円)	799	826	人件費(千円)	823	
事業経費運営	総事業費(千円)	2,761	2,000	総事業費(千円)	2,837
	市民1人当りの経費(円)	16	11	市民1人当りの経費(円)	16
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)	

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい 今後も市が実施すべき事業か	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、廃止・休止はできない 9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、成果を計ることはなじまない
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入 △-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
	協働	△.協働未実施 協働実施済の場合のパートナー
事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒ <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒	見直しの種類 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他
	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 近年、死後引き取り手のない方に関する相談が増加しており、今後の予算措置について検討が必要であるが、実績との比較により現状維持とする。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	市内で見つかった引き取り手のない遺体については、「行旅病人及行旅死亡人取扱法」及び「墓地・埋葬等に関する法律」の規定に基づき、火葬及び埋葬を市が行うこととなっている。近年、引取り依頼の連絡が増加しているため、状況を見ながら、今後の予算措置について検討していく。	

令和元年度(2019年度)事業実施にあつた課題(前年度未解決の事項を含む)	特になし	
課題解決のために行った令和元年度(2019年度)の取組	特になし	<input type="checkbox"/> 解決 <input type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	特になし	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	葉山町	逗子市	三浦市	
他市実績									

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	「行旅病人及行旅死亡人取扱法」及び「墓地・埋葬等に関する法律」の規定に基づき、市が実施するもので、他市との比較はなじまない(救急病院のある市は、取扱い数が多くなる)。
----------------------	---

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	引取り手のない遺体の火葬及び埋葬の件数					単位	件	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)			
近年、取扱件数が増えてきているため	目標値	-	-	-	-	-	-			
	実績値	3	5	4	8	9	5			
	達成率	-	-	-	-	-	-			

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	引取り手のない遺体については、件数を予測できるものではない。
-----------------------	--------------------------------